



「華陽の誓い」の成り立ち

池田華陽会歌「華陽の誓い」は2009年(平成21年)3月4日、八王子市の東京牧口記念会館で行われた新時代第27回本部幹部会の席上、発表された。女子部の代表が「華陽の誓い」を晴れやかに合唱。

池田大作先生は、大きな拍手を贈り祝福した。

池田華陽会は08年(平成20年)3月、「3・16」50周年を記念して、広布に生き抜く師との誓いを留めた女子部全員を、「広布第2幕 池田華陽会」として結成された。

池田先生は2008年5月、随筆に綴った。

「創価の姉妹の連帯は、今回のメンバーを第1期生として、さらに第2期生、第3期生と、美しく尊く、滔々たる人材の大河となって、流れ通っていくに違いない」

池田華陽会の誇りは自ら立てた「弟子の誓い」。この精神を未来永遠に伝えよう！師の励ましにこたえたい。

あふれる思いから「池田華陽会歌」の作成が始まった。

最初案が完成し、歌を収録したCDが、池田先生のもとへ届いたのは2009年(平成21年)2月18日。

池田先生は後に綴っている。

「私が、この歌の原案を最初に聴いたのは、今年の二月十八日であった。いい歌だ。よく頑張ったと思った。だが、華陽会の友なら、もっともっと良いものができる。もう一步、壁を破れば、不朽の歌になると直感した。私が薫陶してきた、若きリーダーたちの力を信じていたからだ。私は、ちょうどその日に行われた婦人部・女子部との最高協議会で、そうした心情を伝えた」

烈々と語る師の姿に、女子部の友は決意した。「師の深き心に応える歌を！ さらに挑戦しよう！」

もう一度、真剣な祈りが始まった。師弟不二の自分に成長しゆく誓いを、もう一重、詩に込めた。

池田先生が池田華陽会に贈った言葉——「師とともに 太陽の心を！ 蓮華の生命を！ 華陽会のスクラムは 世界一の 幸の花園なり！」。私たちには、広布の華、希望の華と舞い、全世界に幸のスクラムを広げゆく使命がある！わが使命を、喜びをもって果たしゆこう！ と、曲のイメージも「感謝」から「歓喜」に変えた。

2日後の2月20日、一新された歌詞と曲が届けられた。池田先生は「すごくいい。盤石だ」。

そして歌詞を推敲し、筆を入れ「華陽の誓い」が完成した。

“師とともに”——誓いを果たし抜く青春。この「華陽の誓い」を高らかに歌いながら、朗らかに勝利の前進を開始するべく、今、池田華陽会歌「華陽の誓い」は、日本中、そして世界でも歌われている。

